

平成 29 年文化庁委託事業
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

生活場面で一步踏み出す ためのチャレンジシート

本教材は学習者が実際の生活場面で、小さな一步を踏み出すための仕掛けを準備した教材です。したがって様々な生活場面において、それぞれの学習者に無理のない形で新たな行動が行えるように配慮されて作られています。それぞれの生活場面に基いた教室活動を行った後、本教材の該当箇所を渡し自宅で取り組めるようになっています。

編集責任 深江新太郎

NPO 多文化共生プロジェクト

(1) 目的

学習者が自宅でこれまで行ったことのない新たな生活上の行為にチャレンジすること

(2) 使い方

学習者は本教材で示された様々なチャレンジを自宅で行ってくる

学習者は を記録、記述してくる

教師は教室活動において を基に詳しくやりとりをする

(3) 期待される効果

学習者の新たな生活上の行為の実践を支援する

教室活動における学習者と教師のやりとりが楽しく、深くなる

(4) 使用上の留意点

本教材は (1) 日常の話題 (2) 生活上の行為 (3) 教材の使い方 (4) 実際に起きたことの 4 つに分けてそれぞれのシートの説明をしています。(4) は基本的にそのチャレンジシートを用いた教室活動で起きたことを記していますが、諸事情によりそれが難しい場合は、チャレンジシートにいたるまでの教室活動を記しています。また本教材で使用したイラストは「かわいい フリー素材集 いらすとや」(<http://www.irasutoya.com>) です。

1	自己紹介	1 4	郵便局
2	買い物（食品）	1 5	近所
3	買い物（洋服）	1 6	コンビニ
4	料理	1 7	救急
5	健康	1 8	贈り物
6	レストラン	1 9	趣味
7	区役所	2 0	交通
8	日常の挨拶	2 1	防災
9	歳時記	2 2	日本人の家
1 0	ごみ	2 3	道案内
1 1	旅行		
1 2	おしゃべり		
1 3	おしゃべり		

(1) 日常の話題

住んでいるところ

(2) 生活上の行為

私的な自己紹介の場面で、自分の町について紹介する

(3) 教材の使い方

学習者は今住んでいる町と故郷の町の同じところを見つけメモをする。

学習者は今住んでいる町と故郷の町のちがうところをメモする。

学習者は日本人と自分の故郷の町について話をしてくる。

教師は教室活動で学習者が書いたシートについてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍フランス）は教室活動で「日本は交通渋滞がある。日本人の女性は外に出る時いつも化粧をしている。フランスにはコインがない。日本はバスや電車が便利。」ということ伝えてくれた。教師は街の中の目につくものを想定していたが、学習者は日本人の女性はいつも化粧をしているという人の違いを見つけ、教師にとっても発見があった。



チャレンジシート「私の町」

1. 福岡は あなたの町と おなじですか。何が ちがいますか。

1 2 3 4 5

2. 日本人と「私の町」の話をしてください。



はなしましたか。
→はい ・ いいえ

(1) 日常の話題

買い物

(2) 生活上の行為

スーパーで買い物をする

(3) 教材の使い方

学習者は1週間に買い物したものの中でよかったものベスト3を紹介する

学習者は買い物した商品ベスト3の写真を携帯で撮ってくる

学習者はベスト3の商品をいつ、どこで、いくらで買ったかをメモしてくる

学習者はベスト3の商品について一言コメントを書いてくる（例：やすくておいしい、など）

教師は教室活動で学習者が買ったベスト3についてシートを基にさらに詳しく聞く

(4) 実際に起きたこと

学習者はベスト3を紹介するために自分のこれまでの日本語能力以上で表現しようとした。

例えば「高い、安い」は表現できる学習者が「甘い、新鮮、やわらかい」などで表現した。

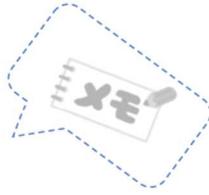
チャレンジシート「買い物」

No.1

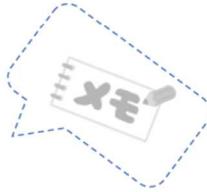
/ () ~ / () かいもの  します。ベスト3は なんですか。 No.2 No.3



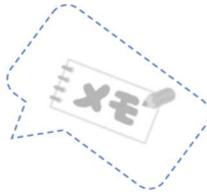
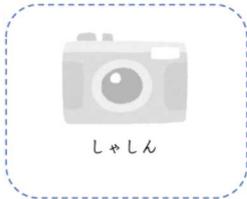
いつ: / ()
どこで: _____
いくら: _____ 円



いつ: / ()
どこで: _____
いくら: _____ 円



いつ: / ()
どこで: _____
いくら: _____ 円



(1) 日常の話題

買い物（洋服）

(2) 生活上の行為

欲しいデザインやブランドの服を店員に伝える

(3) 教材の使い方

学習者は自分の欲しい服と靴を絵に書く。

学習者は について何色かどんなブランドかを記す。

学習者は について金額をメモする。

教師は教室活動で学習者が書いた欲しい服と靴についてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍 インドネシア）はイオンの ZARA の黒いロングワンピース 6900 円、キヤナルシティ のオニツカタイガーの白のスニーカー 15300 円をシートに書いていた。黒いロングワンピースは実際に購入し、白のスニーカーは売り切れで買えなかった。買い物には一人で行ったと言っていたので、欲しい物があれば行動が生まれると感じた。

(1) 日常の話題

料理

(2) 生活上の行為

作った料理のレシピを説明する

(3) 教材の使い方

学習者は 1 週間で作った料理の中でお勧めの料理の写真をとる。または絵を描く。

学習者は の材料をできるだけ詳しく書く。

学習者は の作り方をできるだけ詳しく書く。

教師は教室活動で学習者が書いたレシピについてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍インドネシア）は牛肉のスープを紹介してくれた。「つくりかた」のところでは

「1 ぎゅうにくをふっとうすいにいれます。にくがやわらかくまで」「2 タマネギとニンニクはいためます。

それからちょうみりょうはふっとうすいにいれます」など書いていた。学習者は習った語彙で表現す

るのではなく、伝えたいことを本当に伝えようと表現している。

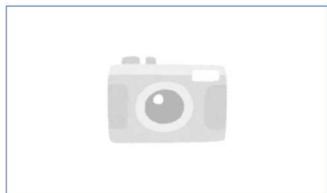
チャレンジシート「りょうり」



Recipe



 りょうりのなまえ



ざいりょう：

 つくりかた

(1) 日常の話題

健康

(2) 生活上の行為

病気の症状について伝える

(3) 教材の使い方

学習者は 1 週間の健康状態をメモする。

学習者は について具体的に体の部位を指しながらメモをする。

学習者は について病院に行くまでもない小さな状態の変化についてメモする。

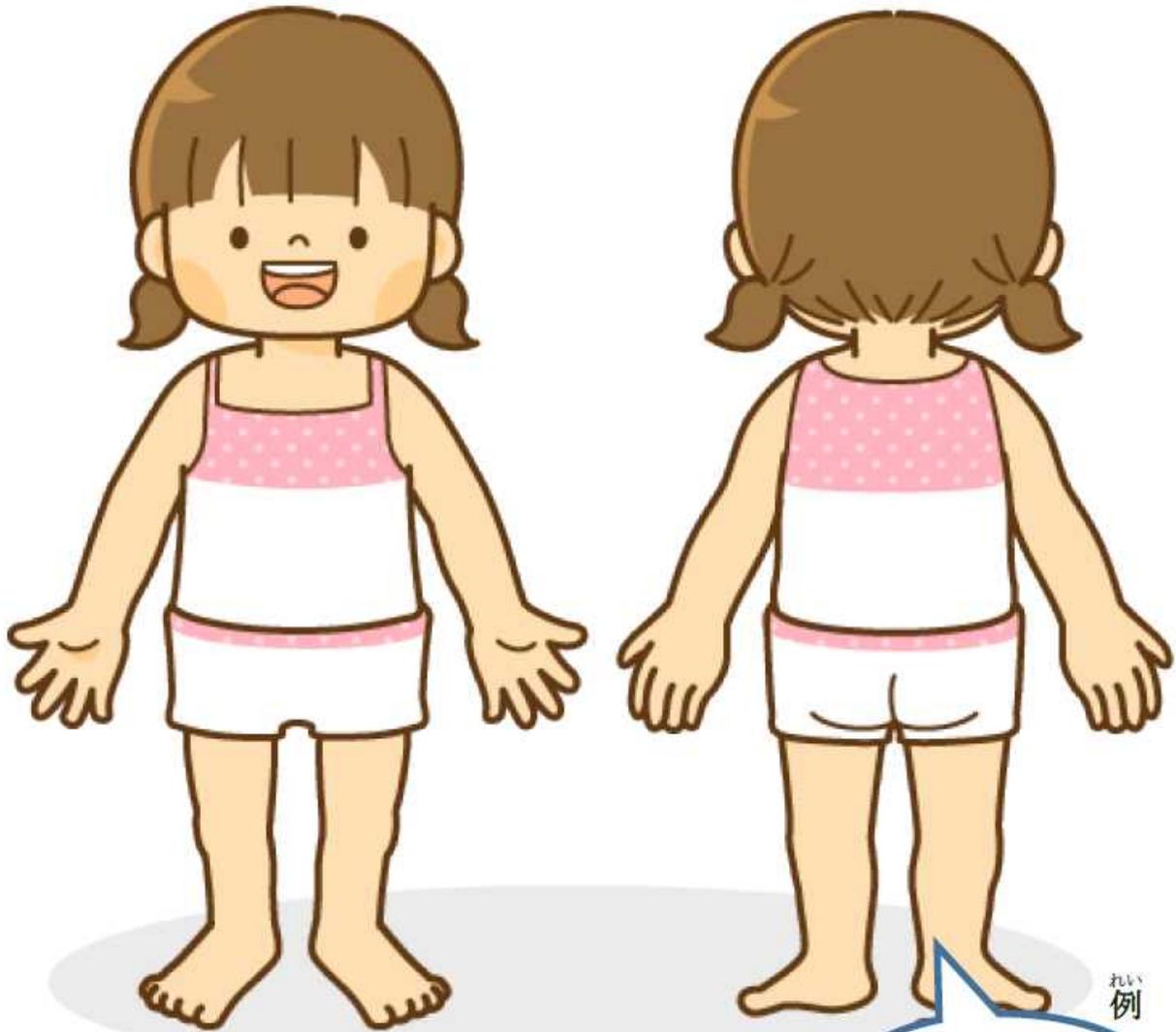
教師は教室活動で学習者が書いた健康状態を基に詳しく話を聞く。

(4) 実際に起きたこと

健康面を気にしている学習者と気にしていない学習者でメモの多さや内容に差があった。「足がむくむ」「睡眠不足」など病気の症状ではないが、日頃の体の状態や日常生活がやり取りの中で分かった。また足がむくまないようにするにはどうすればよいかにやりとりが広がった。また指の呼称は教室活動では行わなかったが、それぞれの呼称を自分で調べて来た学習者もいた。

チャレンジシート「健康」^{けんこう}

* / () ~ / () げんき ですか。げんき じゃありません か。
メモして ください。



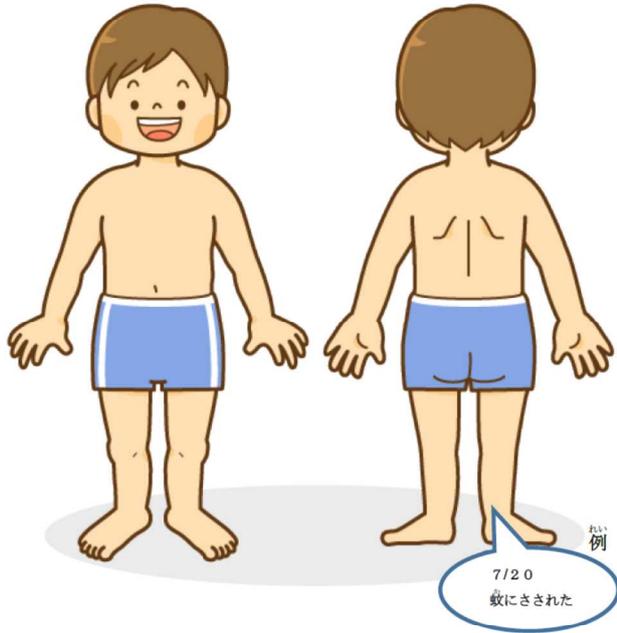
例

8/20
かに さされました



チャレンジシート「^{MA32}健康」

* / () ~ / () げんき です か。げんき じゃありません か。
メモして ください。



(1) 日常の話題

レストラン

(2) 生活上の行為

メニューを見て注文する

(3) 教材の使い方

学習者は自分が作った料理の絵を描いてくる。

学習者はレストランに行った場合、何を注文したか書いてくる。

の時、学習者は店員とどんなやりとりをしたかも書いてくる。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍インドネシア）は「たこやきやさん」に行ってきた。注文したのは「たこやきて

りたま」だった。その学習者は「すみません。ちゅうもんをおねがいします。てりたまをひとつください。

たれはいりません。」と注文した。その学習者はムスリムなのでたれがハラールか分からないからで

ある。ひらがながまだ書けないその学習者はアルファベットで書いていた。

チャレンジシート レストラン

① あなたが つくった リョウリを かいて ください。



② レストランへ いきます。

いつ きましたか。

がつ にち

なにを ちゅうもんしましたか。

みせの ひとと なにを はなしましたか。



(1) 日常の話題

人生設計

(2) 生活上の行為

ライフデザインを試みる，人生の局面で区役所を利用する

(3) 教材の使い方

学習者は今の自分の状態をメモする。

学習者は 5 年後の自分の状態を想像してメモする。

学習者は 10 年後の自分の状態を想像してメモする。

教師は教室活動で学習者が書いたライフデザインについてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

「今は一人だけど、将来は結婚している」「今は主夫。仕事がないのは嫌だけど、将来は先生に

なりたい」「今はウナギの研究をしている。将来はウナギの研究者になりたい」という話があった。

今の生活と将来が直接つながっている人、今の生活と将来がきちんとつながらずそのきっかけを

探している人などその人の人生が垣間見えた。

チャレンジシート「マイアライズ」



*これから10年間の生活をデザインしていきましょう。

	今 (2017年)	5年後 (2022年)	10年後 (2027年)
家と家族			
どんな仕事を していますか。			
どんなところに 住んでいますか。			
どんな生活 をしていますか。			
休みの日は何を していますか。			

(1) 日常の話題

挨拶

(2) 生活上の行為

様々な場面で挨拶をする

(3) 教材の使い方

学習者は 1 週間で交わした挨拶をメモする。

学習者は についてどこで、だれと交わしたかをメモする。

学習者は について日本語でどのように表現したかをメモする。

学習者は挨拶をして気づいたことがあればメモする。

教師は教室活動で学習者が書いた挨拶についてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍 インドネシア）は、病院でのやりとり（わたしのあかさんだいじょうぶですか）、お店でのやりとり（このにくわいくらですか）、友達とのやりとり（おひさしぶりです。お元気ですか）、など一日異なる場所でのやりとりを記していた。

チャレンジシート「あいさつ」



* 来週らいしゅうの授業じゅぎょうまでの1週間、どこで誰だれと日本語にほんごでどんなあいさつをしましたか。

	どこで	誰と	日本語でどんなあいさつをしましたか	メモ
月 日() 				
月 日() 				
月 日() 				
月 日() 				
月 日() 				
月 日() 				
月 日()	日本語教室で待っています。持って来てくださいね。			

(1) 日常の話題

歳時記

(2) 生活上の行為

季節の話題について私的な場面で話をする

(3) 教材の使い方

学習者は 1 週間で様々な場所で季節を感じるものを見つける。

学習者は の写真を撮ってくる。

学習者は の写真を基にそれについて説明をメモする。

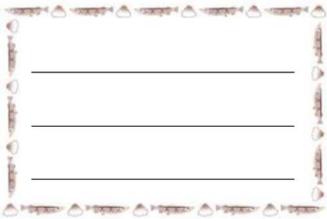
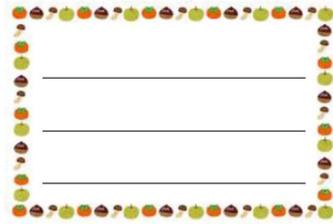
教師は教室活動で を基にさらに詳しく学習者が見つけた季節を聞く。

(4) 実際に起きたこと

「身近な秋」を見つけてくるシートであった。学習者が見つけてきた「身近な秋」はガスメーター、ジャケット、柿、紅葉、ハロウィン、銀杏であった。ガスメーターは、夏から秋にかけて寒くなり、お湯を使うことでガス代が上がったことによる。秋の「物」だけでなく、秋によって起きた「出来事」を持って来たところがおもしろかった。

チャレンジシート「歳時記」

／ ～ ／ に 「 」 をみつけたら 紹介してください。



(1) 日常の話題

ごみ出し

(2) 生活上の行為

粗大ゴミの出し方を尋ねる

(3) 教材の使い方

学習者は古くなったソファを捨てることになる。

学習者は古くなったソファをどうやって捨てるか日本人に聞いてくる。

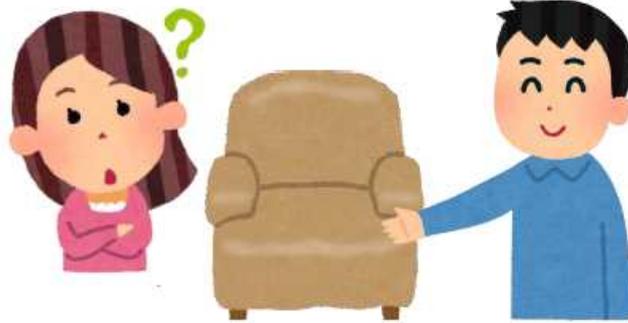
教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

教室活動はまず国での分別の仕方を尋ねることから始めた。次に日本でのゴミの分別の仕方を知っているか尋ねた。一人の学習者（国籍インドネシア）は燃えないゴミとペットボトルの区別が難しい様子だった。また様々なゴミの分別を行う中で、テレビをどうするかは分からない様子だった。そこで電気屋に持って行くといいことを伝えた。粗大ゴミは普段捨てるものではないため、捨て方が分かりにくいものであると思い、ソファの捨て方を尋ねることをチャレンジシートにした。

チャレンジシート

そ だい
粗大ゴミの だしかた



ふるくなった ソファーを すてたいです。

どうやって すてますか。にほんじんに きいて ください。

Handwriting practice area with ten horizontal dashed lines for writing.

(1) 日常の話題

旅行

(2) 生活上の行為

旅行に行く場所を尋ねたり調べたりする

(3) 教材の使い方

学習者は自分の行きたい旅行先で何がおすすめか知人に尋ねる。

学習者は について食べ物は何かおいしくて、季節はいつがいいか尋ねる。

学習者は自分の行きたい旅行先についてインターネットなどで調べる。

学習者は について分かったことをメモする。

教師は教室活動で学習者が書いたシートについてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

大阪にいる友達に会いたい学習者は、おすすめの場所は心齋橋、食べ物はたこ焼きをバイト先の日本人に紹介してもらった。自分で調べたことは海遊館であった。時間的な余裕のない学習者であったが、大阪に行きたいということは一貫して持っている思いだった。

チャレンジシート「旅行」

① さんに、聞いてみよう!

へ 行った ことがありますか。

はい ・ いいえ

おすすめの 場所は どこですか。



食べ物は 何が おいしいですか。

季節は いつが いいですか。

春
夏
秋
冬

② について、調べてみよう!

わかったこと

1

2

3

(1) 日常の話題

おしゃべり

(2) 生活上の行為

私的な場面でどきどきしたことなどを伝えるおしゃべりをする

(3) 教材の使い方

学習者は 1 週間でどきどきしたこと、わくわくしたことをメモする

学習者は 1 週間でいらいらしたこと、はらはらしたことをメモする

学習者は についていつ、どんな場面だったかをできるだけ詳しく書く

教師は教室活動で学習者が書いたシートについてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

「アルバイトしている幼稚園のこどもが高いところに登って遊んでいるのを見てはらはらした」「同じゼミの人にパソコンの使い方を教えてもらう時にどきどきした」などの話があった。自分の生活の中でそれぞれの気持ちの出来事を見つけてくることに驚いた。また一人ひとりの日常の一場面が見えて嬉しかった。

チャレンジシート「気持ち」

/ () ~ / () の「ときどき・わくわく・はらはら・いろいろ」

を教えてください。

わくわく

月 日 ()



ときどき

月 日 ()



いろいろ

月 日 ()



はらはら

月 日 ()



(1) 日常の話題

おしゃべり

(2) 生活上の行為

私的な場面でささいな出来事について伝える

(3) 教材の使い方

学習者は 1 週間で起きた出来事を 4 コママンガにする

学習者は にタイトルをつける

学習者は で感じたことを「心のひとこと」としてメモする

教師は教室活動で学習者が書いたシートについてさらに詳しく聞く。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍 中国）は奥さんと二人で焼き肉キングに行って、香椎浜の花火大会に行ったという 4 コママンガがあった。その学習者には子どもがいるが、お母さんが中国に連れて帰っていたので久しぶりの二人のデートで嬉しかった様子。普段は感情を表に出さない学習者であるが、その嬉しかった気持ちが伝わってきた。

チャレンジシート「4コママンガ日記」



あのう…こんなことが ありました

① 月 日 () タイトル: _____

		こころ 〈心のひとこと〉
	1 2	
	3 4	

② 月 日 () タイトル: _____

		こころ 〈心のひとこと〉
	1 2	
	3 4	

(1) 日常の話題

郵便局

(2) 生活上の行為

手紙を書く

(3) 教材の使い方

教師は「みらいぼすと」の説明をする

「みらいぼすと」は未来の自分に向けて書いた手紙で実際に届けてくれるもの

学習者は5年後の自分に向けて手紙を書く

教師は学習者の手紙を受け取る

教師は「みらいぼすと」に送る、「みらいぼすと」は有料で1000円～2000円ぐらい

(4) 実際に起きたこと

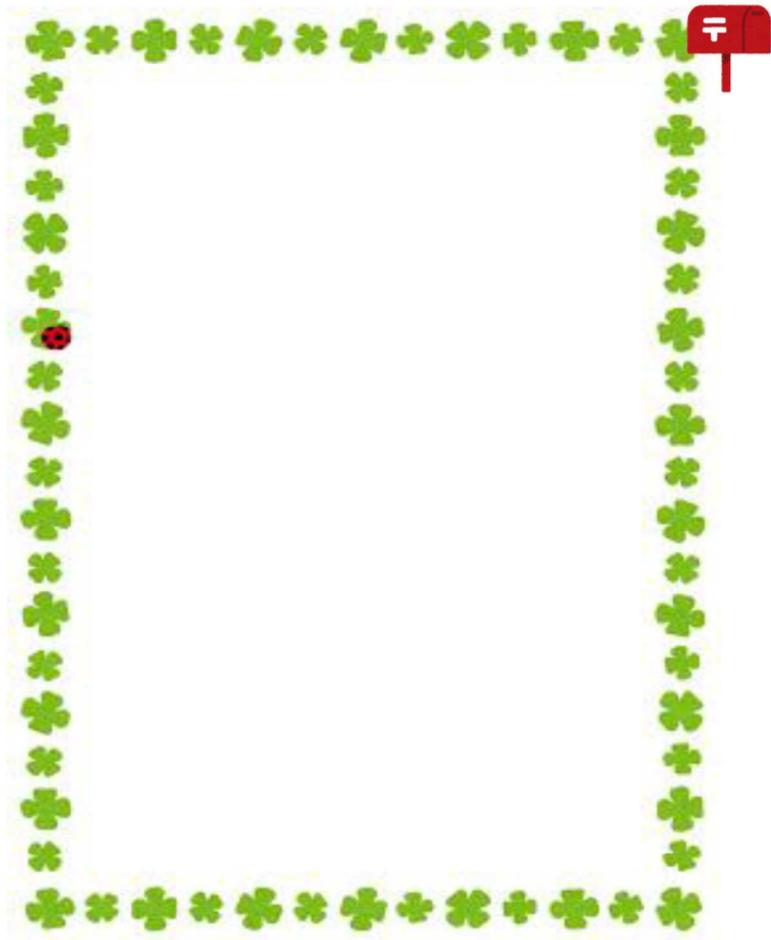
一人の学習者(国籍 中国)は今25歳で30歳の自分に手紙を書いていた。「まいにちい

そがしいでしょう。しけんちゃん(こどものなまえ)ごさいになりました。あつりよくがおおきでもきつと

どりよくしてます。いまのあなたはほんごがともじょうずですか」という内容であった。

チャレンジシート「メッセージをつたえる」

ねんご わたし
「5年後の私へ」メッセージをおくりましょう



「みらいぼすと」で5年後の私にメッセージを届けます。

(1) 日常の話題

近所

(2) 生活上の行為

近所の人と話したり、近所のイベントに参加する

(3) 教材の使い方

学習者は近所で気づいたことを 3 つメモする

学習者は近所の人と話し、いつ、どこで、だれと話したかメモする

学習者は近所のイベントに参加し、いつ、どこで、どんなイベントに参加したかメモする

学習者は ~ の中でできることに挑戦する

教師はシートを基に詳しく話を聞く

(4) 実際に起きたこと

団地で生活する一人の学習者（国籍 中国）は、棟長さんの部屋を訪ねて初めて管理費を支払ったことを書いていた。またこの先にある団地のお祭りについて書いていた。このシートが一人で行動する機会となった様子。

チャレンジシート「きんじょ」



きんじょを よくみて わかったこと3つ

- 1.
- 2.
- 3.



きんじょのひとと はなしてみましよう

メモ (いつ・どこで・だれと)



きんじょのイベントを さがしましよう

メモ (いつ・どこで・どんな)

さんかしましよう♪

(1) 日常の話題

コンビニ

(2) 生活上の行為

コンビニに行って、商品やサービスについて尋ねる

(3) 教材の使い方

学習者は近くのコンビニに行き、いつ、どこで、何を買ったかメモをする

学習者はコンビニの店員に、買いたい商品について不明な点を尋ねる

学習者は、店員が分からないことについて、お客様センターに問い合わせる

学習者は ~ の中でできることに挑戦する

教師はシートを基に詳しく話を聞く

(4) 実際に起きたこと

イスラム教徒である一人の学習者（国籍 インドネシア）は友達からお菓子のホームパイのバターは食べられると聞いていた。コンビニに行くとホームパイのロイヤルミルクティー味が出て食べた
いと思い聞いてみたら食べられることが分かった。初めて一人で行動する機会となった様子。

チャレンジシート「コンビニ」



コンビニへ いきましょう。

24

メモ



コンビニのひとに ききましょう。



メモ



おきやくさまセンターに でんわしましょう。



メモ

(1) 日常の話題

救急

(2) 生活上の行為

家の近くにある病院を探す

(3) 教材の使い方

学習者は家の近くの地図を書く

学習者は に病院を書き込む

学習者は病院が分からない場合は知人の日本人に聞く

教師はシートを用いて詳しく話を聞く

(4) 実際に起きたこと

体の具合が悪くなった時に近くにある病院に行けるようにこのシートを作成した。学習者の一人

(国籍 ベトナム) はスーパーの近くにある精神科と循環器 , 小学校の近くにある耳鼻咽喉

科を記していた。また別の学習者 (国籍 中国) は丁寧に書いた地図の中に総合病院を記

していた。

じ こ きゅうきゅう

チャレンジシート

事故・救急



いえ

家のちかくのめじるしはなんですか。家のちかくにどんな病院がありますか。

し

き

知らないときは日本人に聞いてみましょう。

ちず

それから、家のまわりの地図をかきましょう。



(1) 日常の話題

贈り物

(2) 生活上の行為

知人に日本のおみやげをあげる

(3) 教材の使い方

学習者は日本人に日本のおみやげについて聞く。

の写真があれば撮ってくる。

の名前、どこで買うか、いくらかも聞いたり、調べたりする。

をだれにあげたいかを記す。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

チャレンジシートを配布する前の教室活動では、「誕生日にどんなものをあげますか」「もらってう

れしかったプレゼントは何ですか」「いままでもらったプレゼントで嬉しかったものは何ですか」などを

話をして、今、プレゼントをあげたい人がいるか尋ねた。

おくりもの・プレゼント

チャレンジシート

★おすすめのプレゼント・おみやげを日本人にききましょう！！

さんに ききました



名前

どこで
かう？

いくら？

だれに
あげる？



(1) 日常の話題

趣味

(2) 生活上の行為

自分の趣味や好きなことを伝える

(3) 教材の使い方

学習者は自分の趣味や好きなことでしたことの写真を撮ってくる。

はできれば 2 枚撮ってくる。

学習者は についてコメントを記す。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍インドネシア，女性）は旦那さんとパンを作った写真と大学院の研究室

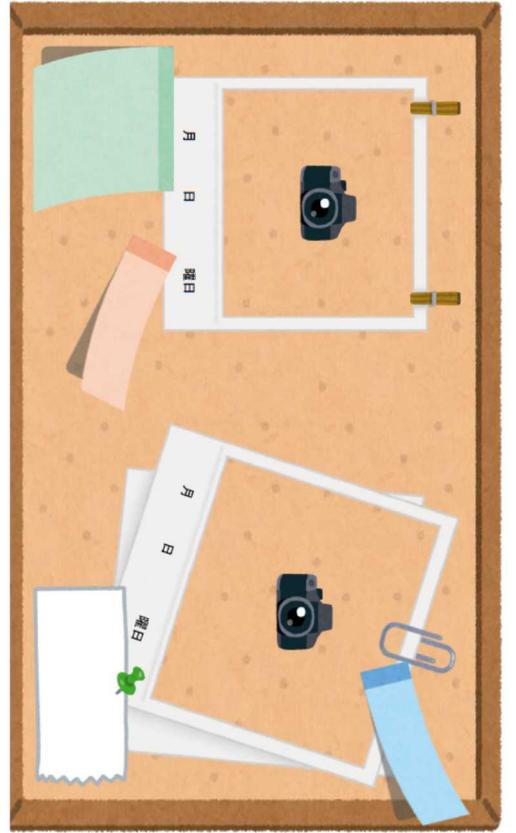
の仲間とピクニックに行った写真を貼っていた。教室でのやりとりは、「このパンは何のパンですか」

「だれと作りましたか」「味はどうでしたか」「他にどんなパンを作りましたか」を中心に行った。メロン

パンの緑は抹茶を使ったということだった。

しゅみ・すきなこと

写真シート



(1) 日常の話題

交通

(2) 生活上の行為

行きたいところへ行くための交通手段を尋ねる

(3) 教材の使い方

学習者はしてみたいことができる場所を知人に尋ねる

の例は紅葉が見たい。紅葉がきれいなところを知りませんか、などである。

学習者は の名前，おすすめポイントを尋ね，記す。

学習者は の場所までの交通手段を尋ねる。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

目的は自分の知らない場所について尋ねそこまでの交通手段を知ることであったが，自分の知っている場所について尋ねてくる学習者が多かった。また交通手段も「大牟田駅からバスで20分です」などだいたいところで記していたので，詳しく聞けるように説明が必要だった。

チャレンジシート: **こうつう**



ところをしりませんか。



なまえ



おすすめポイント



どうやっていきますか



(1) 日常の話題

防災

(2) 生活上の行為

避難所がどこにあるか知る

(3) 教材の使い方

学習者は家の近くにある避難所を知人に聞いたり、自分で調べる。

は家からどのぐらいの距離かも聞いたり、調べる。

学習者は学校や会社の近くにある避難所を聞いたり、自分で調べる。

は学校や会社からどのぐらいの距離かも聞いたり、調べる。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

チャレンジシートを配布する前の教室活動では、「これまでどんな災害を経験しましたか」「災害の時に困ったことは何ですか」「災害の時、心配だったこと、怖かったことはありますか」「災害時の非常袋に何を入れますか」などを尋ねた。

ぼ う さ い

チャレンジシート

★あなたの家や会社の近くの避難所をさがして書きましょう。

いえのちかく



ばしょの名前

いえからあるいてどのくらい？



会社・学校のちかく



ばしょの名前

会社・学校からあるいてどのくらい？



(1) 日常の話題

日本人の家

(2) 生活上の行為

家に招待される

(3) 教材の使い方

学習者は知人の日本人の家に招待されることになる。

の時、学習者は何を持って行くか考える。

の時、学習者はどうして にしたか考える。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

チャレンジシートを配布する前に「休みの日は何をしますか」「日本に来て今までだれの家に行ったことがありますか」「国ではだれの家に行きましたか」「国で人の家に行く時、どんなルールがありますか」「日本人の家に行ったことがありますか」「日本人の家でびっくりしたことはありますか」などを尋ねた。

にほんじんのいえ

チャレンジシート



★日本人の家に行くとき、どんなおみやげを持っていきますか

_____ さんの家へ行くとき



何をあげますか？

どうしてですか？



(1) 日常の話題

道案内

(2) 生活上の行為

自分の家までの道順を伝える

(3) 教材の使い方

学習者はある特定の場所にいることを決める。

学習者は からタクシーに乗ることになる。

学習者は から家までの道順を考え、記す。

教師はシートをもとに詳しく尋ねる。

(4) 実際に起きたこと

一人の学習者（国籍インドネシア）は日本語教室の場所から家までの道順を細かく書いていた。グーグルマップで調べたとのこと。ただ実際に行ってみて、出発地点から家まで案内することはないため、家の近くから家までのほうが良いと思った。

みちあんない チャレンジシート

○○○ ⇒ うち

あなたは ○○○ に います。あめが ふっ ています。



タクシーで うちへ かえります。運転手うんでんしゅに 道みちを 案内あんないして ください。

A large rounded rectangular box with a purple border, containing seven horizontal dashed lines for writing.

本教材は、日本で生活する外国人が教室活動をきっかけにして、実際にこれまで行えなかった日常の行為にチャレンジしたくなるようにと思い作成しました。もしこの思いに共感してくれる方がいましたら、本教材を活用しながら実際に自分なりのチャレンジ教材を作成してもらえたら大変嬉しいです。

本教材の作成にあたり、作成段階において、本教材のチャレンジが強制的なものではないかということが作成者間でたびたび議論されました。強制的でなく、無理なものではないチャレンジをどのように生むかが本教材の最も苦心した点です。

この点において、編集にあたり不十分な点があるとも感じましたが、本教材が現時点でのベストだとも思います。学習者の新たな行為を生み出すという目的において、教師側の関わりはどんなものがあるのか。自発性が教師と学習者の関係性から生まれるものであるなら、本教材はその関係性の中から生まれる自発性を目指した教材です。

本教材に関して、使ってみての感想やご意見がありましたら次へご連絡ください。

NPO 多文化共生プロジェクト

代表 深江新太郎 Email : tabunka123@gmail.com